

第1学年音楽科学習指導案

平成29年12月 1日 第2校時

場 所 第2音楽室

授業者 教諭 田沢 友香莉

1 題材名 イメージをふくらませる音楽の力を感じ取ろう

2 題材について

(1) 生徒の実態 (略)

(2) 題材設定の意図

本題材は、学習指導要領との関連「B鑑賞 ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして音楽のよさや美しさを味わうこと。」に即して進めていく。教材にはシューベルト作曲「魔王」を用い、詩の内容と音楽とが密接に関わっていることを知覚し、要素同士が密接に関わって音楽表現を生み出していることを感受する学習を展開する。

指導にあたっては、「知識構成型ジグソー法」を用いる。エキスパート活動において自分が担当した音楽の要素の変化を集中的に追い、それをジグソー活動で共有し、他者から得た情報をもとに楽曲の鑑賞を深めていく。そうすることで、要素同士が関連して楽曲を構成していることに気づかせたい。知覚・感受したことを他者に伝え、理解を強化することもねらいである。楽曲を様々な角度からとらえ、表現の効果を感じ取ることができれば、その力は歌唱表現の工夫にも結び付くと考える。生徒自身がそのようなことに気づくきっかけにもなるため、歌曲を教材とした本題材を設定した。

3 題材の目標

(1) 詩の内容と音楽のかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。

(音楽への関心・意欲・態度)

(2) 音楽を形づくっている要素と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、楽曲のよさを言葉で説明する。(鑑賞の能力)

4 教材について

シューベルト作曲「魔王」は、詩の内容と音楽が密接に関わっている。ゲーテの詩は物語といってもよい性格を備えており、その物語の展開を理解することで、旋律とピアノ伴奏に秘められている音楽表現を一層感じ取ることができる。曲の構造としては、最初と最後に「語り手」が状況を描写し、魔王におびえる「子」と、子をいたわる「父」の会話が繰り返される間に、「魔王」の甘いささやきが入る。会話が繰り返される度に、子の歌い出しの音高が高くなっていくこと、父の音域は常に低いこと、魔王の台詞では長調に転調し、伴奏の形にも変化があることなどに注目することで、要素同士を関連付けて聴くことができる教材である。

5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕ア・イの関連と具体的な学習活動

指導事項	B鑑賞 ア音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして音楽のよさや美しさを味わうこと。				
〔共通事項〕ア イ	音色	リズム	速度	旋律	強弱
		三連符		調	
具体的な 学習活動	○詩の内容と曲想とのかかわりを捉えながら全体を聴き、登場人物による「音色」「旋律の高さ」のちがいを知覚・感受する。				

	<p>○伴奏の音楽表現が描写しているものを捉える。</p> <p>○自分の担当する要素が、物語が展開するにつれてどのように変化するかを捉える。 (…エキスパート活動)</p> <p>○エキスパート活動の情報を伝え合う。(…ジグソー活動)</p> <p>○ジグソー活動の情報をもとに、要素同士の関連を捉えながら全体を鑑賞する。</p>
--	--

6 評価規準 (題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準)

	音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
題材の評価規準	<p>①詩の内容と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②声色(音色)やピアノ伴奏、旋律線、速度、強弱の変化と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>①声色(音色)やピアノ伴奏、旋律線、速度、強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。</p> <p>②知覚・感受しながら、音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>
1時	①	①
2時	②	②

7 指導と評価の計画 (2時間扱い)

時	○学習内容 ・学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準
1	<p>○詩の内容と曲想を関連づけて聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Mein Vater」(父)「Mein Sohn」(息子)の意味を知り、音楽を聴いてどのような物語か想像する。 ・教科書の歌詞(日本語訳)を読み、内容を理解する。 ・改めて全体を聴き、誰の台詞か理解する。 <p>○登場人物ごとによる表現のちがいを知覚・感受する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「音色」「旋律の高さ(音域)」「伴奏の雰囲気」に着目して聴く。 ・ピアノ伴奏の描写しているものを考える。 	<p>○なぜそのような物語を想像したのか、音楽の諸要素や音楽表現を根拠に述べさせる。</p> <p>○場面の状況、特に「子」が病によって「魔王」が見えていることを押さえる。</p> <p>☆詩の内容と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。(関①)</p> <p>○登場人物ごとにちがいを出している作曲者の音楽を、歌手が解釈して表現していることに気づかせる。</p> <p>☆声色(音色)やピアノ伴奏、旋律線、速度、強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。(鑑①)</p>
2	<p>○音楽的諸要素の変化と物語の展開とを関連付けて聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の担当した音楽の要素について、物語が展開するにつれてどのような変化があるか聴き取る。…エキスパート活動 ・グループで共有し、他の要素の変化について知る。…ジグソー活動 <p>○共有したことをもとに、要素同士のはたらしを関連づけながら全体を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の魅力について鑑賞文を記述する。 	<p>○注目すべき場所を提示しながらも、思考を限定しないように配慮する。</p> <p>☆声色(音色)やピアノ伴奏、旋律線、速度、強弱の変化と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。(関②)</p> <p>○グループでの話し合いが円滑に進むよう声かけをする。</p> <p>○物語の展開と音楽表現の変化に着目させ、要素同士の関連づけて聴くよう助言する。</p> <p>○音楽の諸要素の言葉を用いて記述するよう指導する。</p> <p>☆知覚・感受しながら、音楽を形づくっている</p>

		要素と曲想との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。(鑑②)
--	--	---

8 本時の学習指導 (2 / 2)

(1) 本時の目標

物語が展開するにつれて音楽の要素がどのように変化しているかを聴き取り、全体を鑑賞する。

(2) 展開

○学習内容 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆具体的評価規準 (評価方法・手立て)
○前時の内容を復習する。 ・物語の状況、登場人物ごとの音楽の変化をおさえる。 ・本時の目標を理解する。	○物語の状況、登場人物、音色、旋律の変化について前時の内容を整理する。
物語が展開するにつれて、音楽の要素がどのように変化しているかを聴き取ろう。	
○音楽的諸要素の変化と物語の展開とを関連付けて聴く。 エキスパート活動 「音色の変化」「旋律線・音高の変化」「伴奏の変化」「速度の変化」から担当する要素を決める。 ・自分の担当した音楽の要素について、物語が展開するにつれてどのような変化があるか聴き取る。 ・ワークシートに記入する。 ・記入したことをもとに、エキスパートグループ内で気づきを共有する。 ジグソー活動 ・4人組グループで共有し、他の要素の変化について知る。 ○共有したことをもとに、要素同士のはたらきを関連づけながら全体を鑑賞する。 ・楽曲の魅力について鑑賞文を記述する。	○4人組をつくり、担当する要素を決めさせる。円滑に進行する。 ○注目すべき場所を提示しながらも、思考を限定しないように配慮する。 ☆声色(音色)やピアノ伴奏、旋律線、速度、強弱の変化と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。(関②) ○グループでの話し合いが円滑に進むよう声かけをする。 ○物語の展開と音楽表現の変化に着目させ、要素同士の関連づけて聴くよう助言する。 ○音楽の諸要素の言葉を用いて記述するよう指導する。 ☆知覚・感受しながら、音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。(鑑②)